

あゝ頃

— 写真で語る
おけと —

郷土資料から置戸の歴史や人々の
生活を語る写真を紹介していきます。

この街並みは
どこでしょう？



境野地区は、明治31（1898）年に平村エレコーク一家がオロムシ（現訓子府町日の出）から愛の川付近に移住し、置戸定住者第一号となった土地です。エレコークは、網走線敷設願の道案内や網走監獄脱獄囚を捕らえるなど多くの逸話が残されています。

その後、川南、豊住などに野付牛村（現北見市）に移住した開拓者が入植しましたが、当初は借り小屋を建てて通い作でした。道は現在の上常呂小学校までで、そこから獣道を馬に駄鞍（だあん）をつけて、枝を払いながら通ったとの証言も残されています。訓子府から境野を結ぶ道路は明治40年に開通し、現在の良誓寺付近を通っていました。

明治44年4月、秋田団体移住者は、駅がなかった境川（現境野）に臨時停車した列車から降り、まだ雪残る道を歩き、クンネップ川上流の入植地に向かいました。

今回の写真は、昭和20年代（撮影年不明）の境野市街地遠景です。初代境野公民館は、昭和26年11月、境野駅向かいの小高い丘の上に建てられました。

（参考：置戸町史）

喜びと悲しみ（敬称略）

■ご出生おめでとうございます

○前田 創 男児 創志（そう） 新光 3/10
真由美

■お悔やみ申し上げます

○橋本 サヨ 81歳 勝山新生 3/11
○道原 ミツヨ 85歳 安住 3/14

○小野垣 一春	78歳	境野中央	3/15
○佐藤 テル	94歳	境野旭	3/17
○福井 朋子	66歳	林友	3/30
○中川 榮子	93歳	境野	3/31
○鈴木 進	84歳	心和	4/3

編集後記

☆平成から令和へ。「広報おけと」も気持ち新たにリニューアル。表紙の写真や見開きページの活用などを考え、2穴をやめてみました。ファイルなどに毎月保存している方には、大変お手数をおかけします。広報について、皆様のご意見・ご感想お待ちしております。今年度もよろしく願います。㊦

人の動き

●世帯数	1,431世帯（-18世帯）
●人 □	2,872人（-42人）
●男1,329人（-22人）女1,543人（-20人）	

平成31年3月31日現在（ ）内は2月末比

■今月号の表紙：3代目境野公民館の落成記念式典・祝賀会で、境野福寿クラブの歌（作詞：佐々木又蔵、作曲：玉手道男）を歌い上げる同クラブの皆さん